

# 平成31年度 部活動の基本方針

宇都宮市立晃陽中学校

## 1 部活動の目的

部活動は、学校管理下のもと学校教育の一環として、学校長が認めた指導者（顧問や外部指導者）が放課後や休日等に行う課外活動である。そこでは、生徒がスポーツ・文化・芸術等に触れながら、より高い水準の技術や記録を目指し、互いに教えあい、励まし合う中で、楽しさや喜びを味わうとともに自主性や社会性を育てるなど、生きる力を育む教育的効果は、非常に大きい。そこで、本校では部活動を通して生徒の心身の健全な成長を促すことを目的に、以下の運営方針に基づいて部活動を運営する。

### ◇運営方針◇

#### (1) 心を育てる部活動

- ①コミュニケーション力の向上（あいさつ・返事・伝える・聴く）
- ②精神力の向上（努力・忍耐）

#### (2) 達成感や満足感を味わえる部活動

- ①部員の目標達成のための自主的な活動
- ②生徒の状況を考慮した練習計画の工夫

#### (3) 顧問と部員の良好な信頼関係に基づいた部活動

- ①顧問と部員の活発な意思疎通
- ②部員の努力を認め、励ます顧問の姿勢

#### (4) 学校生活の向上に活かす部活動

- ①全教職員の連携体制
- ②顧問と学級担任の協力関係

#### (5) 顧問と保護者が連携した部活動

- ①部の運営に協力する保護者会
- ②顧問と保護者会の役割の明確化

## 2 本年度の部活動

運動部		文化部
野球	バレーボール（女子）	吹奏楽
サッカー	卓球（男子・女子）	美術
バスケットボール（女子）	剣道（男子・女子）	

※生徒の希望がある場合、大会のみ参加（水泳など）

## 3 活動計画

- (1) 毎月の活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出する。また、活動計画については、職員室前に掲示する。
- (2) 毎月の活動計画や大会・コンクール等の開催予定などを、事前に生徒・保護者に伝える。

## 4 活動時間及び日数

### (1) 朝の活動

7:00～8:00

(確認事項)

- ・集合時間については、6:50より早くならないこと。
  - ・開始時間より前に活動をしないこと。
  - ・終了時刻を守るとともに、遅刻をしないこと。
- ※実施する場合には、生徒の健康や生活リズムを配慮する。

(2) 放課後の活動

期 間	終了時間	下校時間
4月	18:00	18:15
5～7月	18:30	18:45
夏季休業中	※各部活動の計画による	
9～10月新人大会まで	18:30	18:45
11月～1月	17:00	17:15
2月	17:30	17:45
3月	18:00	18:15

(3) 活動時間及び休養日

① 休養日の設定

- ア) 学期中は、週当たり2日以上休養日を設定する。(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日(以下「週末」という。)は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で休養日が確保できない場合は、休養日を他の日に振り替える。)
- イ) 長期休業中は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるよう、ある程度長期の休養期間(オフシーズン)を設定する。
- ウ) 大会・コンクール前において、基準どおりに休養日が確保できない場合には、その前後に代替の休養日を確保し、生徒の身体的な疲労などに留意して、長期間連続して活動することがないようにする。

② 活動時間

- ア) 1日の活動時間は、長くとも平日で2時間程度、学校の休業日(学期中の週末を含む)は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- イ) 朝練習を行う場合には、部活動顧問は季節や生徒の通学時間などを考慮しながら、目的を持って短時間で効果的に実施できる計画を立て、生徒の健康、学校生活や授業に支障のない範囲で実施する。
- ウ) 練習試合や合同練習会等で基準の活動時間を超えて活動する場合には、生徒の健康管理に十分配慮し、1日のうちに休養時間を適切に設定するとともに、別の日の活動時間を減らすなど、週当たりの活動時間にも留意する。

(4) 長期休業中の活動について

- ・長期休業中も、「(3) 活動時間及び休養日」と同様に、活動時間及び休養日を設定する。

(5) その他

- ・テスト4日前(土日を含む)は、部活動は行わない。ただし、大会等がある場合には相談する。
- ・水曜日は、休養日とし部活動は行わない。

5 指導にあたって

(1) 活動内容

- ・発達段階や体力、技能等に応じて活動内容を配慮する。
- ・部員一人一人の個性をしっかりと見極め、伸ばす工夫をする。

(2) 事故防止及び健康管理

- ・関係する施設・設備の点検を行うとともに、生徒にも安全確認を指導し、事故の未然防止に努める。
- ・環境条件(天候、気温など)について、十分安全に配慮した練習内容や活動時間とする。特に、熱中症について予防対策を徹底し、発生が疑われる際に適切に対応する。
- ・生徒の心身の状況などの健康観察を行い、健康状況により適切に対応する。

(3) 体罰の禁止

- ・勝利至上主義に陥らないよう留意し、体罰など力に頼った指導は絶対に行わない。

(4) 外部指導者の活用

- ・外部指導者を活用する際には、学校の方針に従って指導を担えるよう、練習計画の相談や連絡、生徒に関する情報交換など、顧問との協働体制を密にする。

(5) 大会や発表会等への適切な参加

- ・適切かつ確実な生徒引率を行う。
- ・交通手段には、原則として公共交通機関を利用する。

(6) その他

- ・個人で使用する物品については、高額なものを勧めることがないようにする。また、家庭の経済状況により購入が困難な場合には、学校や部所有の物品を貸し出すなど、十分配慮する。
- ・保護者会費や部費、大会参加費や交通費などの部活動の運営に係る経費について、保護者の経済的負担が過重にならないようにする。

## 6 部活動の入部・退部

(1) 入部 ア 1年生の加入の手順

- ①各部生徒代表による部活動紹介を聞く。
- ②部活動見学及び仮入部をする。
- ③担任に入部届を提出する。
- ④担任は確認後、部活動顧問に提出する。

イ 2・3年生の加入の手順

- ①担任に入部届を提出する。
- ②担任は確認後、部活動顧問へ提出する。

(2) 退部

退部を希望する生徒は、担任、部活動顧問と相談した後に、顧問から退部届を受け取り、担任と保護者の承諾を受け、退部届を顧問に提出する。

## 7 部活動の創部・廃部

(1) 創部

- ①下記設置種目の①～④のいずれかの条件を満たしていること。
- ②団体種目の場合、入部を希望する生徒が継続して大会参加可能な人数（大会等がない場合は活動可能な人数）を確保できる見込みがある場合
- ③大会引率を伴う場合は、複数の顧問教諭が長期的に確保できる見込みがある場合。

《設置種目について》

- ①栃木県中学校体育連盟に専門部が設置されている種目。
- ②栃木県中学校文化連盟主催のコンクール・芸術祭などにおいて活動機会があるもの。
- ③地域に専門的な知識や技能を有する指導者がおり、長期的に継続して外部指導者としての協力が得られるもの
- ④生徒や顧問教員に専門的な知識や技能がなくても、生徒の自主的な取り組みにより活動が可能なもの。

(2) 廃部

- ①大会等がある場合、2年間連続して大会に参加できない状況が続いた場合。
- ②大会等がない場合は、1年以上活動が困難な状況が続いた場合。
- ③顧問教員の不足や減少により、部活動運営が困難になった場合。